




あいどるだいやり～

無自覚のうちに肉便器に生まれ変わるアイドルたち



346プロダクション所属のアイドル島村卯月です。
まだまだ半人前ですが、今日も1日がんばります！

え？アンケートですか？
ごめんなさい…いま急いでるので…
(やっぱりアイドルですから、いろいろ話を
簡単に受けちゃダメですよ。
プロデューサーさんにも軽はずみな行動は
避けて下さいって言われてるし…)

名前：島村卯月

生年月日：4月24日

所属事務所：346プロダクション



名前：島村卯月

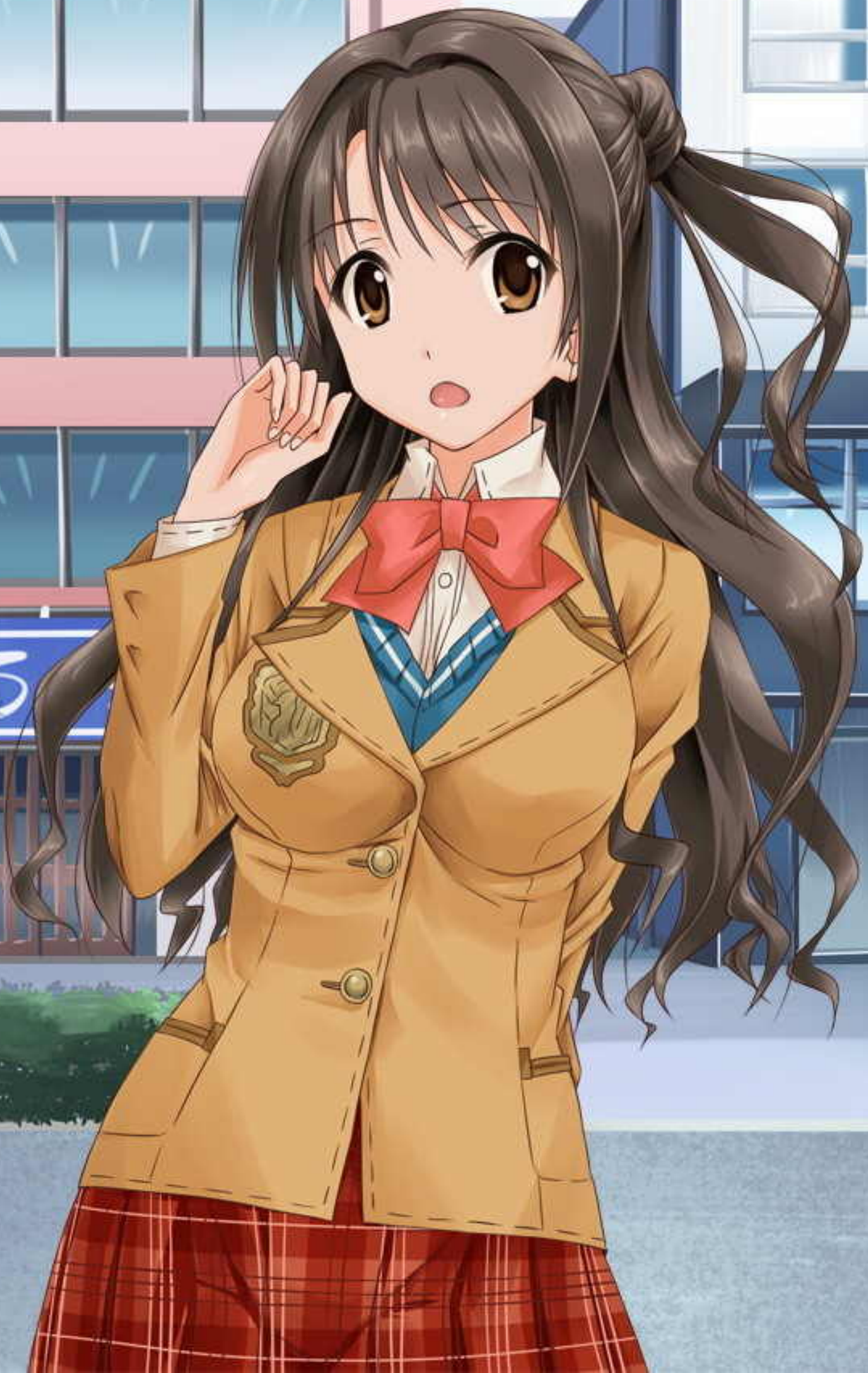
生年月日：4月24日

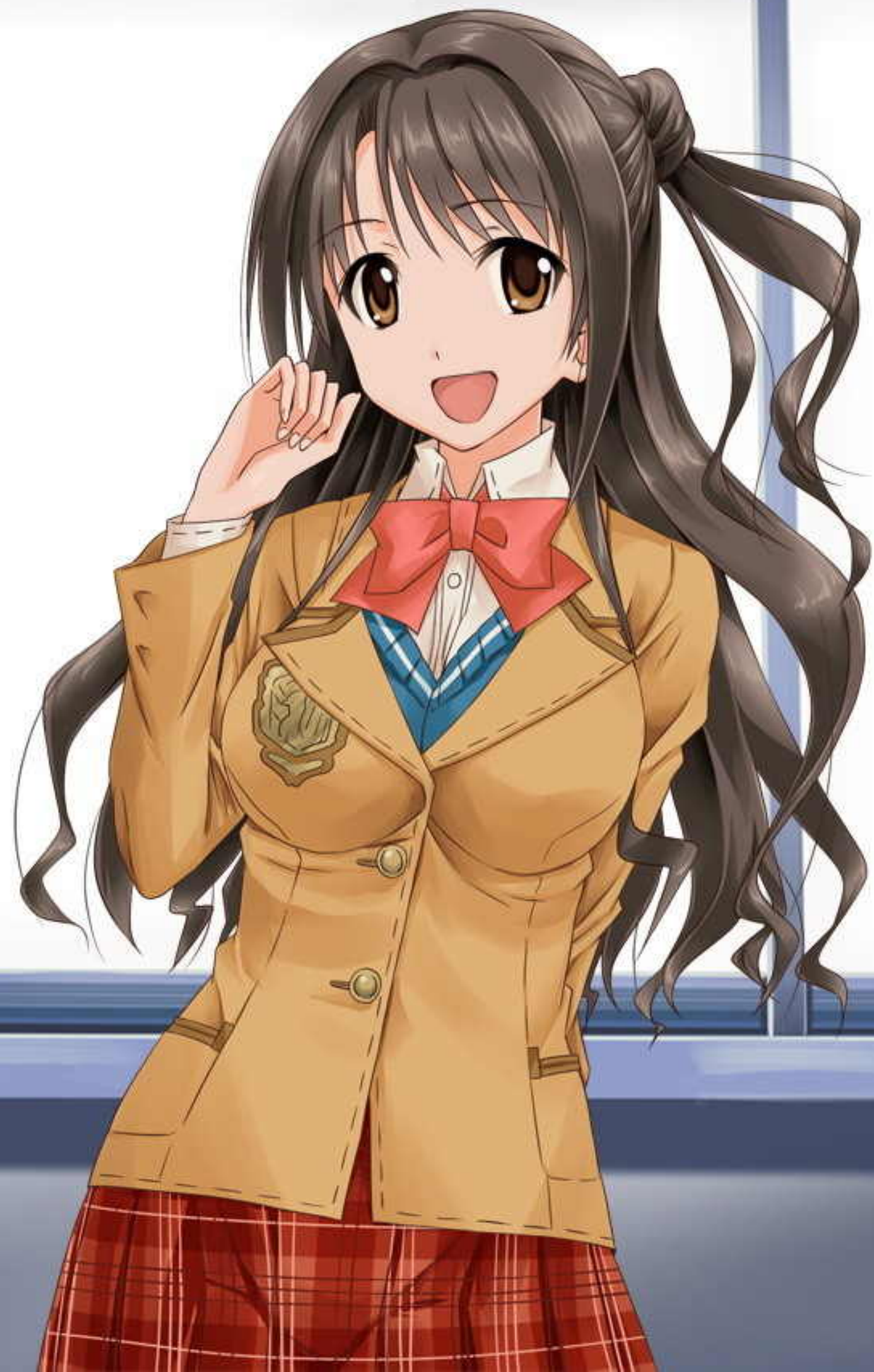
所属事務所：~~346プロダクション~~
69670

「……………」
あれ？
おかしいな…意識が遠くなってる…
どうしちゃったんだろう？

えっと…
今…誰かと話してた気がするんだけど…
気のせいかな…？

あ、いけない…遅刻しちゃう
私は大急ぎで自分の所属する
696プロに向かいました。





「お疲れ様です」
事務所に着くと、プロデューサーさんが
待っていてくれました。

「おはようございます、
先生様。今日も
よろしくお願いします。」



名前：島村卯月

特技：笑顔

趣味：友達と長電話

はい、実践も出来ますー！
ではすぐに準備しますね。
島村卯月、頑張りますー！



……私の特技ですか？
「もちろん、おまんこです」
え？ どんな行為が知っているのかーですか？
もちろんです。男の人のおちんちんを
「こ」にある穴に入れるんですよー！

名前：島村卯月

特技：~~笑顔~~ おまんこ
趣味：~~友達と長電話~~ オナニー

備考：特技や趣味については
恥ずかしいと思う事はない。

レッスンや収録は何があっても
途中で中断する事は出来ない。

性行為の感度は通常の10倍

特殊性癖：膣内に射精
されると無条件でイク

「お願いしますプロクターさん」
私はソファアー横になると、
プロクターさんへ声をかけました。
緊張してはるから、
下半身がすく熱いです。

あや

「処女なのにおまんこなんかに
本番おまんこか？」
え？ えっ？...あれ？
私、はじめて...なんでしょっか？

はー
はー

おまんこ

ちゅ
ちゅ

思わず混乱してしまいましたが、
すぐにプロテクターサービスが
入ってくるのがわかります

暫くすると、私はすっかり
おまんこにのめり込んでしまいました。
「はあはあはあ…奥まで届らしてあげよう」
プロデューサーさんのおちんちん…
気持ちよくて頭が湯けちやうとうです。
あっ、急に小刻みに動いて…
どうしちゃったんでしょっか？

おまんこ♡

おまんこ

おまんこ



びしょ♡


その瞬間、熱い感覚がお腹の中に
広がりました。

「ひああ、イクぅー！」

同時に私も天に昇るような快感に
包まれます。

すくく気持ちよかったです…

オナニーとは比べものになりません…

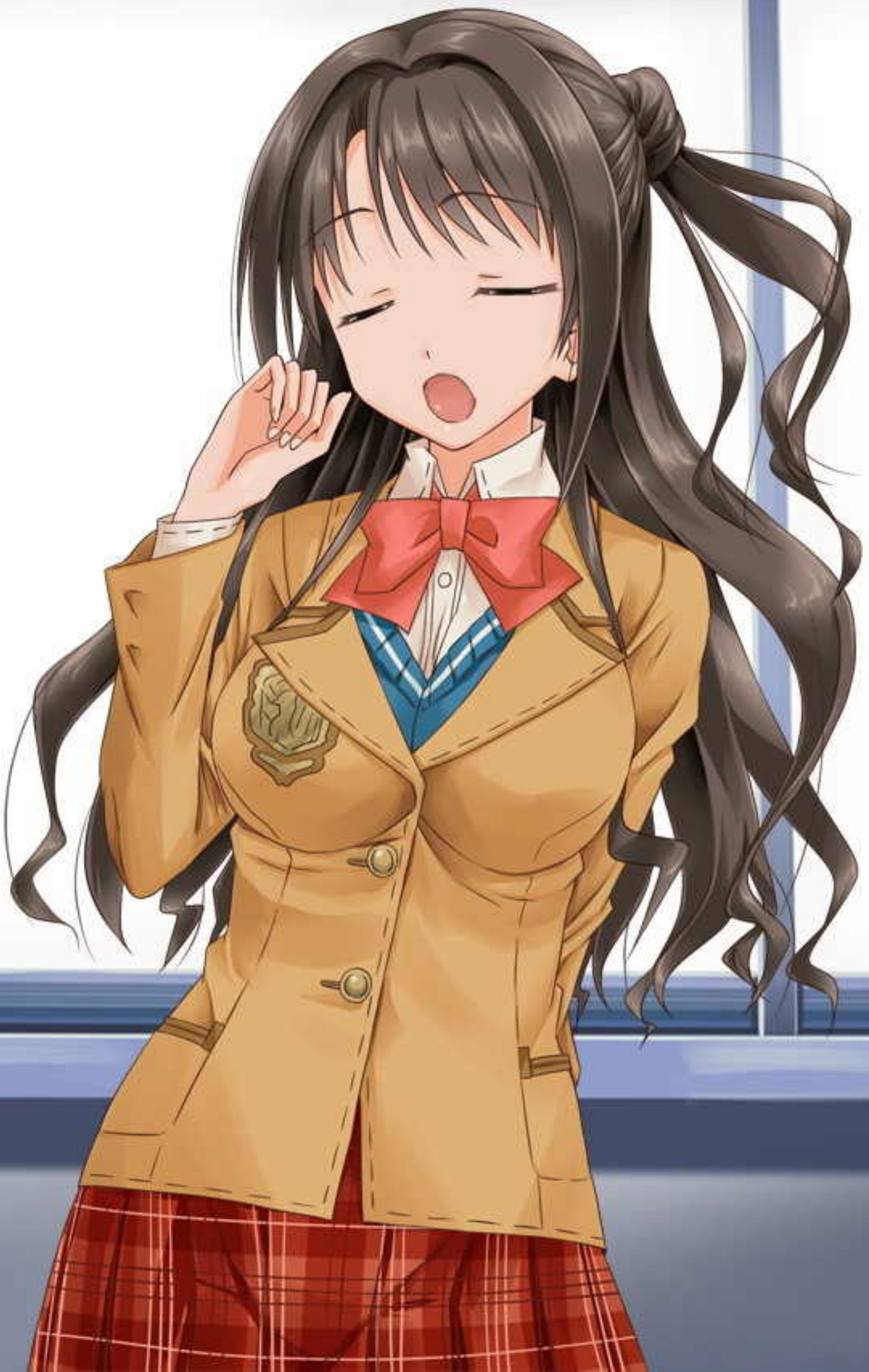


「なかなか上手いじゃないか」
「ありがとう」
「やりました、プロデューサーさんに
誉められちゃいました」
「なら、今度はおまんこを締めて
ザーメンを搾り取るんだ
これは男を悦ばせるための
常識だからな」
はい、島村卯月絶対に忘れません！

ぐんぐん

きゅん

翌日。
「おはようございます」
私はぐっすり寝ておりました。事務所に入室しました。
朝までオナニーしてました
すっぴん眼ですわ...



でも、今日もランラン
頑張らなすわ...



「あ、愛梨ちゃん?」
その時、私は憧れのアイドルである
十時愛梨さんがいるのに気づきました。
やっぱり、いっぱい活躍してる人は
すっごく輝いて見えますね。
「えっ? 愛梨さんの番組をうちのプロが
制作するんですか?」
それなら、事務所で会う機会も
あるかもしれないね。
愛梨さんさえ良ければ
いろいろ勉強させて貰えると嬉しいなあ...





暫くもろくもプロロイターサービスマンがやっしんまじだ。
「お疲れ様です、プロロイターサービスマン」
グインダー「は何が書かれてらるんやろこせらんやろ
ちよつとだけ気になつちやうたりします。



あ、今…
何を言っているのかわからず…
…おかしな話…

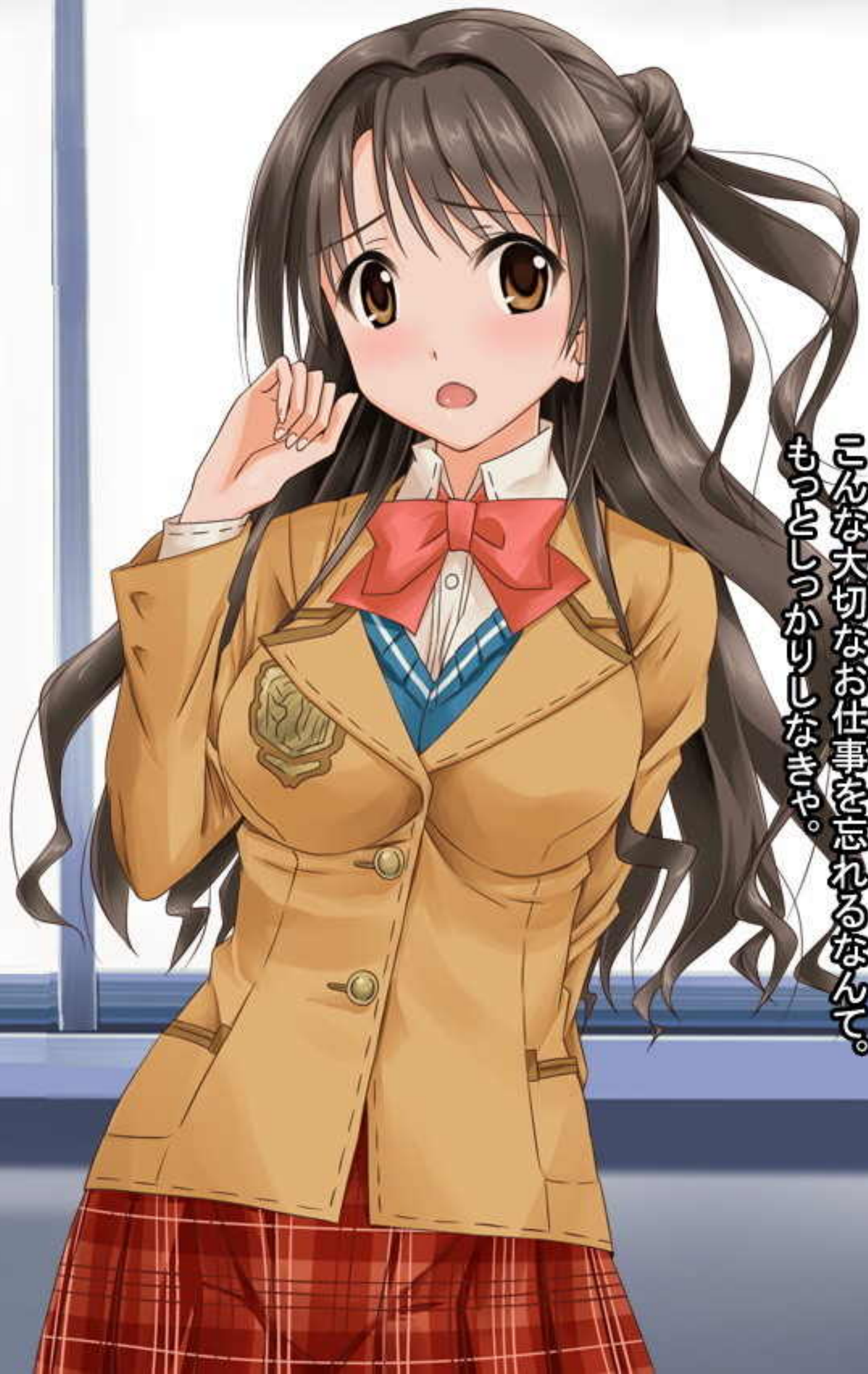
696プロ事務所内ルール：

事務所内にいるアイドルは
プロデューサーに対し
必ずパイズリ奉仕を行い
射精させなければならない。

なお、これはレッスンの一環であり
アイドルにはやりがいと達成感が
伴う。

・島村卯月の特殊性癖：
顔や乳房に精液を浴びただけで
強制的に性的絶頂を迎える。

それをもたらした男に対し
無条件で信奉し隷従する
ようになる。
また、同時に快感の記憶が
紐付きになり、その存在を
認識or意識しただけで
性的興奮が湧き上がる。



「あー！めんなわら、すんばりめいす！私ったら何をやってるんぞ！……
こんな大切なお仕事を忘れられるなんて、
もっとしっかりしなさい。」

696プロ事務所内ルール：

事務所内にいるアイドルは
プロデューサーに対し
必ずパイズリ奉仕を行い
射精させなければならない。

なお、これはレッスンの一環であり
アイドルにはやりがいと達成感が
伴う。

・島村卯月の特殊性癖：
顔や乳房に精液を浴びただけで
強制的に性的絶頂を迎える。

それをもたらした男に対し
無条件で信奉し隷従する
ようになる。
また、同時に快感の記憶が
紐付きになり、その存在を
認識or意識しただけで
性的興奮が湧き上がる。



「卵月ちゃん？ 私も手伝ってあげますよ」
「本当ですか？」
私は緊張を隠さず「結構ダンスの練習はいいよ！
嬉しいから一緒にやろうよ。」「はい、いいですね...
私も手伝ってあげますよ...」



「ほ、はい。頑張ります」

「じゃあ、一緒に挟みましょうか」

私たちはプロデューサーにパイズリ奉仕をはじめます。
これはアイドルにとって大事なレッスンなので
頑張って射精させなきゃいけませんね。



「はあはあ…プロデューサーさんのおチンポ…
どうしても熱くて吸い込まれちゃいます」
それに、愛梨さんもすく感じてます。
私も負けじとおチンポ全体をおっぱいで包み込みました。

「ううう…おっぱい…おっぱい…おっぱい…
ああん、おっぱい…おっぱい…おっぱい…
おっぱい…おっぱい…おっぱい…」





「ひあああん」
そして、プロデューサーさんの熱いザーメンが
顔に飛び散ると、私はそれだけでイってしまいました。
すごく気持ちよくて、愛おしくなっちゃいます。

びん

ゴッ
ゴッ

ゴッ
ゴッ

ああん

びん

「んんん、卯月ちゃんでも上手でしたね」
「愛梨さんが素敵でしたから、触発されちゃいました」



んんん

あんっ

はあ
はあ

ぬちゅ
ちゅ

もちろん、プロデューサーさんが満足するまで奉仕は続きます。
でも、すこしく気持ちいいので、まだまだパイズリを続けたいなあ…

島村卯月のルール（追加分）；

- ・ 事務所では必ず全裸で過ごす。
（一般常識的にも当然の行為）
- ・ 社員の性欲処理はアイドルにとって当然の仕事なので頼まれば嬉しくてたまらない。
- ・ 裸を見られると無意識のうちに発情する。

「お疲れ様です、プロデューサーさん」
私はお仕事にながったので今日は事務所で待機です。

え？裸ですか？

はい、寒くないので大丈夫です！

（だけど、今日は一段と身体が熱い気がします…
昨日、プロデューサーさんにももらった事を
思い出してオナニーしすぎちゃったせいな…？）



私は社員の方に呼ばれると、すぐにお回奉仕のレッスンをはじめます。
皆さんの性欲処理にも貢献出来ると思ってる。
6000プロ所属のアイドルとして、おっぱいアイドルの仕事はあつまる。

「ほら、全体を唾液で染めるんだ」
「亀頭の先を舐めるのも出来るなよ」

あやう

あやう

「はい、「生懸命頑張ります」
とは言っても、まだまだ半人前ですから
社員の皆さんの「指導を受けて
もっともっとおチンポを
悦ばせられるようになります。」

今日は先日教えていただいた
なるべく汚らしくおチンポを
しゃぶる技を実践しています。

グニム

ムム

ムム

ムム

ムム

「じゅるる…生チンポとても美味しうす…
しゅも卵月の顔に田上はオオな」
そして、それぞれのおチンポにイかせてもらった事を
思い出しながら、わっしょいを絡めしゅまわす。
あん…もうすぐ濃いのが田上…

「おはよう」
待ち望んでいらた射精です」

Ver

ニムナム

ニムナム

ニムナム

ニムナム

Ver

あまりに大量のザーメンに
私は耐える事も出来ずいつちやりました…
でも、最近よっやく味の違いがわかってきたんですよー
あん、もっとうらやうらやうって
皆さんの感想ももらいたいです



「準備出来ました」

午後からはAV女優のオーディションです。

AV女優…って、男の人とエッチな事をするのが
仕事なんですよ。

今までやった事のなりお仕事ですが

いろいろ挑戦してみたいので頑張りますー！

名前：島村卯月

午後の予定：
~~アニメ~~ビデオの~~声優~~オーディション
アダルト 女優

備考：
AV女優に対して負のイメージは
全くなく、むしろステップアップに
必要とすら思っている。

会場に着くと
すぐにオーディションがはじまりました。
どうやら、今日は私だけみたいです。



「はじめまして、島村卯月です」
「最初に聞いておきたいんだけど
撮影に当たってNGはあるかい?」
すぐに監督さんが質問してきました。

…NG…ですか?」

「ニュージェネレーションズの事じゃないですよね…?」
え? ダメな行為?」

いえ、何でもやりますのでよろしくお願いします。

私はすぐに衣裳合せをする事になりました。
スタジオに移動すると、男優さんのおチンポを握りながら
カメラの前に座ります。
あん、それだけでおまんこが熱くなっちゃいます。

くさず





「このたび、A◇デビューする事になりました
島村卯月です。ファンみなさんにおナニーでもお誘いする
体当たりで演技しますので、よろしくお願ひします」
「すいませんが、おチンポを弄りながら心を込めて言えました。
やっぱり何事も前向きが肝心ですよねー！」

アッ

アッ

アッ

そっで、い「褒美とっで」

そのまま監督さんと生ハメです。

ああん、監督さんのおチンポ……

すごく太くて奥まで届いてるのがわかります。

私も気持ちよくて、すぐに自分から

腰を振ってしまいました。



「はあはあ、卯月…おチンポに囲まれて幸せです」
その時、カメラが回っている事に気づいたので
私はエッチな演技が出来るように頑張りました。
とは言っても、本当に感じてるんですけどね
ですから、遠慮なく射精(だ)して
私をイかせてくださいー!





「はぁあん…来ますっ」

私は待ち望んでいたサーメンを浴びると連続アクメに身体を震わせました。監督さんが言うには、私みたいな女の子は珍しいみたいで、本番でもびっぴたりな場面を用意してくれるそうです。やりました、すっごく楽しみです！

あま〜

おまへ♡

あ〜♡

あま〜

あま〜

あま〜



ただ、余りに気持ちよ〜い〜にまっさらの
ギャラは一本00000円と言わ〜れ〜てまっさらだ...
でも、確かに私も気持ちよ〜くな〜るのよ。だからならぬわ。まっさら。
その分、いら〜はいら〜お仕事を回〜してま〜るわ。頭張〜てま〜す。

おっ

んん

んん

次の日、事務所に行くと、
プログラマーさんから、○○のプロが
存続の危機である事を聞かされました。
いっぱいお金が必要なんです…
うう、困りました。



名前：島村卯月

所属：696プロ

部門：アイドル

備考：696プロに所属している
事が心の支えになっており
ずっとここにいたいと
常に思っている。

そう、私の得意なデリヘルのアルバイトをして
事務所を助ければいいんです。
卯月、負けません！



「プロトタイプカーちゃんー
私にできるかもよちゃんー」

名前：島村卯月

所属：696プロ

得意

部門：~~アイドル~~ デリヘル
(経験：中)

備考：696プロに所属している
事が心の支えになっており
ずっとここにいたいと
常に思っている。

デリヘル詳細：

基本→

客に会った際には
自発的にディープキスを行う

無料オプション→

即尺、アナル舐め、聖水、電

NG→撮影、男複数



さっそく仕事が入りました。
場所は近くのアパートだったので
すぐに向かいます。

「はじめまして、卯月です」
相手はちょっとお腹の出た、30歳くらいの方でした。
すごく臭い部屋でしたが、弱音は吐いてられません。



ちやぶ

こうして、私はすぐにキスをはじめます。
相手から特に指定がなければ、
自分の意志でキスするのが店の方針なので。
ああん、お客さまの舌…すぐくザラザラしてます。
そんなに唾を流されたら……くくっ
私は泣く泣く飲むしかありませんでしたが、
笑顔です笑顔。

次にオプションを尋ねると「即尺」を求められたので、
私はすぐにズボンを脱がせました。
出てきたのはビックリするほど
臭いおチンポでしたが、躊躇ってる暇はありません！
舌を伸ばすと、汚れを舐め取るように奉仕をはじめます。



そう「うう」としていると、お客さまが
カメラを取り出しました。
「ほら、もっと激しくしゃぶるんだよ」
うちの店では撮影行為は禁止です…
でも、お金が貰えなくなるのが
怖いので、私は言われた通り
おチンポをしゃぶり続けました。

おぼろ

おちんぽ



「あひああん…」
すると、そのままお客さまは私の顔に
ゲームンをぶち撒けました。
嫌だと思っても、やっぱりいじめるお母さんです。

Vol.4



次に指示されたオプニングは「アナル舐め」でした。



ゴック

ゴック

だんだんエスカレートしていく感じで、ちよつと怖かったです。身体は一度いった事で、すっかりお客さまの虜になってしまっていたため、もう抵抗はありませんでした。



んもっ

ぎん

「俺のケツの穴は美味いか？」
お客さまは勝ち誇った様子で
そう尋ねてきました。

「はい、とっても美味しいです」
もちろん、それは本心です。

「はあん、入ってきますう」
最後はようやく生ハメです。

ぬ
る
ん
あ
ん
ん

ん
ん

私は自分から腰を振ると、ようやく一つになった喜びを感じながら
おチンポを気持ちよくしていきます。



ですが、「JJ」でも予想外の展開が起りました。
お客さまのお友達が乱入してきたのです。

ぬちゅちゅ

びゅびゅ

ん...

うちの店ではお客さまが複数のプレイを禁止していますが、
「JJ」で止めるとお客さまがチャンポを抜かないといけません...

「へっ、俺のチンポの具合はどうだ？」
「は、はい……どうでも気持ちいいです」
「なら、料金はタダでいいよな？」
「あん……それは困ります……」
「嫌なら抜いちまうぜっ」

めっめっめっ
めっめっめっ
めっめっめっ

めっめっめっ
めっめっめっ

「ああん、わかりました
お代はいりませんから、
おチンポ……おチンポ突いてえ……」
「うなるど、もうダメでした。」

「ひやあああ…イグごう」
こうして、私は大量に精液をぶっかけられると
また、おまんこイキを繰り返します。

ド
グ
ユ
ド

ド
ド
ド

ド
ド
ド

ド
ド

ド
ド
ド

ド
ド
ド

最初は嫌だったはずなのに…今ではお客さまのおチンポにメロメロです。
え？もう一回ですか？ はい、もちろんです…



こんにちは、アイドルの十時愛梨です。
今日もお仕事、頑張りますね。



名前：十時愛梨

誕生日：12月8日

所属：346プロダクション

「はい？何か御用でしょうか？」
急に見知らぬ人に声をかけられてしまいました…
大学では友達がいるいろいろ対応してくれるので
いざ一人の時だと困っちゃいますね…
どうしましょう…



あれ？
何か急に意識が遠くなっている
ような気がします……

名前：十時愛梨

誕生日：12月8日

所属：346プロダクション

現在のステータス：発情中

これから最初に見た男と
どうしてもセックスしたくなる

性行為の感度は通常の20倍



「あ、あの…ちょっとお時間いいですか？」
私は自分でもよくわからないままに
目の前の男の人を
人目に付かない場所へと連れて行きました。
(なぜだかこの人じゃないと
いけないような気がしたので…)

名前：十時愛梨

誕生日：12月8日

所属：346プロダクション

現在のステータス：発情中

これから最初に見た男と
どうしてもセックスしたくなる

性行為の感度は通常の20倍



ああん…私、初対面の男の人相手に
何をしてるんでしょう…
で、でも…身体が熱くて…

はあはあ…「ん、ん」の棒…「ん、ん、ん」といって呼吸してるのよ
こんなダメなのに…我慢出来ません…

おまんこ

おまんこ

「あはあん」
あん、そ、そんなの入れちゃ……
私…初めてなのに…でも止まりません…
はうう、とっっても残念なのに
すごく気持ちよくて…
どうでもよくなっちゃいます…

ズ
ズ
ズ

あ
ん
あ
ん

ズ
ズ
ズ

あ
ん
あ
ん



「ひあああ…おしんべん」
私は濃い汁を受け止めると
頭が真っ白になっちゃいました。
こんなの…ダメなのに…
でも、もっと気持ちよくなりたいの…



おしんべん

—ですが、男の人に教えられて
私は重大な事に気づきました。
…これは致命的なスキャンダルです…
しかも、私だけじゃなく事務所にもで
迷惑がかかってしまうような…

んっ…

んっ

「どうすればいいかわかんない」
男の人は教えてくれました…
私の出演する番組をooooonroに
担当させれば、内緒にしておいて
くれると…

わかりました、何とか事務所と
相談してみます…!

あん、ホッとしたらまた身体が
熱くなってしまいました…



翠江、私は番組の打ち合わせで
○○○の企画を訪ねるよ、
そっちは鳥村卯月ちゃんがいまいた。
そっか、卯月ちゃんは移籍したんですね…
そう考えるよ、アイマスには
いい事務所なのかもしれない





「私も頑張りますので、番組の方
よろしくをお願いしますね」

「おはようございます。今日は
お天気ですね。おはようございます。」

「おはようございます。今日は
お天気ですね。おはようございます。」



おのづから女一歩...
何が...書い...
...か...
...か...

名前：十時愛梨

番組を手伝ってくれる696プロに感謝しており、望まれば身体を使って恩返ししたいと思っている。

相手が気持ちよくなる事が最優先だが、自分が気持ちよくなる事も決して忘れない。

自分をイかせてくれた男には行為後もずっと尽くしたくなる。

基本マゾ



「あの…せっかくだすし、
私に何か出来る事はありますか？」
私は696プロの方にお礼がしたくて
たまりませんでした。

名前：十時愛梨

番組を手伝ってくれる696プロに
感謝しており、望まれば
身体を使って恩返ししたいと
思っている。

相手が気持ちよくなる事が
最優先だが、自分が気持ちよく
なる事も決して忘れない。

自分をイかせてくれた男には
行為後もずっと尽くしたくなる。

基本マゾ



すると、私の事を知らないうちに
見てらる方がいらたのよ。
気持ちよくなって貰おうと服を脱ぎました。
少しでも恩返しが出来たのよ。
恥ずかしくありませんよ。

名前：十時愛梨

番組を手伝ってくれる696プロに
感謝しており、望まれば
身体を使って恩返ししたいと
思っている。

相手が気持ちよくなる事が
最優先だが、自分が気持ちよ
くなる事も決して忘れない。

自分をイかせてくれた男には
行為後もずっと尽くしたくなる。

基本マゾ

「んんん、私が動かせますから
おまじりなさいな」

ごやぶし

おまじり

私は社員さんのちんぽを
おまんこで挿入してました。
それだけで湧けるようになった。
快感が湧き上がっていくみたいです。

はあ
はあ

ぬるっ

ぬるっ

でも、本番は「これからです」。
私はちんぽを全部飲み込むと、
おまんこ全体を擦りつけていきます。
ああん、すい〜気持ちいいのぉ…
社員さんも私のエッチな穴を
堪能していただけると嬉し〜です…

「えっ？卯月ちゃん？」
その時、卯月ちゃんがやって来ると
結合部に舌を伸ばしてはじめてました。

ぬちゅ

ちゅ

ぬちゅ

あん...

「あん...お手伝いしてくれてるんですね...
はあはあ...ちんぽが増えたみたいで、
すごく気持ちいいです...」
「あん...もっと口で掻き回して欲しかったです」
私はお尻を振りながら
おねだりを繰り返しました。

「アイドルの十時愛梨が
こんなはしたない変態だったとはな」
社員の方の声が事務所に響きます。

ぬぷっ

きゅん

あゝ

あゝ

はあ
はあ

「ごめんなさい、愛梨は...
ちんぽ狂いの変態です」
私はすぐにそう答えました。
正直、自分ではよくわからなそうですけど、
こんな風に恥ずかしい台詞を口にするの
すごく気持ちよくなりそうです...

そんな私に満足したのか
社員の方がいっぱい射精してくれました。
「ああん、アクメ来ちゃったっ…」
私もその衝撃でイクと、更に深く
ちんぽを啜え込みます。
あん、逆流したザーメンが
卯月ちゃんにかかっちゃってますけど、
今は声をかけている余裕はありません…

びくん

アクメ

ジュウジュウ

きゅん

ジュウ

ジュウ

ああん



ぐんぐん

めいめい

ぐんぐん

ぐんぐん

ぐんぐん

「お情けありがとうございます」
私は自分をイかせてくれた社員さんに
心から感謝していました。
「これから抜きたいときは
いつでも性欲処理便器になりますので、
ぜひ愛梨を呼んでくださいわね♥」
そして、許される限り
ちんぽの温もりに浸り続けました。



今日は番組の収録日だったので
プロデューサーさんやスタッフさん
をお渡ししました。

本日の予定

12:00~ 番組収録

「愛梨のらぶらぶ☆くつきんぐ」

内容：ファンと一緒に
チーズケーキを作る。



早くスタジオへ来てお母さんを見てー
なせだかよくわかんないけどー
あーあーあー

本日の予定

12:00~ 番組収録

「愛梨のらぶらぶ☆くつきんぐ」

内容：~~ファンと一緒に~~
~~チーズケーキを作る。~~

ケーキを作ると見せかけ
愛梨が気持ちよくなる姿を
カメラに披露する

「愛梨のらららら☆くしきんぐのお時間がやってきました。
今日はチーズケーキを作りたいと思います」

「最初は生地作りからはじめますね」
「ジュッジュッおまんこからたっくんと汁を集めます」

私はカメラに向かって丁寧におまんこを弄って見せました。
真似する人もいるかもしれませんが手は抜けません。

「はあはあ…、お汁の量はボール半分くらいです」
まだ全然貯まってませんので、全体を刺激して
興奮させていきます。

あん、だんだん頭の中がぼーっとしてきました。
ちよっと苦戦してるかも…

はあ
はあ

え？道具を用意してくれるんですか？
はい、是非お願いします。





「では、」の棒を使らまじやん」

私はスタンピングさんのちんぽをまんこで貫きました。

はあ
はあ
はあ

ゆ
ちゃ

「はあはあ、」らららら腰を振るよ

「まんこが気持ちよくなりたいよ、まんこをまんこで貫きたいよ。」

まんこをまんこで貫きたいよ、まんこをまんこで貫きたいよ。

「はぁん、おまんこ捲ねるっ」
私はカメラに視線を向けながら、小刻みに動き続けます。

ちゅぽ

じゅぽ

はぁ
はぁ

愛液は涎のようにつぶれては溢れつつありますが、それ以上にちんぽが固くなっているのが嬉しんです。

「あひっ」
そんな中、スタッフさんはミルクを出してくれました。

だる
トロ
トロ

「もう少しマン汁が出てからの方が
よかったですかね?」
「いえ、これも必要なので全然大丈夫ですよ」

たねっ
たねっ

私はアクメの快感に酔いながらも
しっかりと「おまんこ」を締めあげてミルクを吸い上げると、
ミックスさせたHなお汁をホールに流し込んでいきます。

「はあはあ、しめんなさい、もう一回イキますね」
でも、まだ物足りなかったのので
撮影はいったん中断です。



「ああん、おん、おん」
あん…カメラに向かってこんな姿を見せられるなんて
やっぱり最高ですねっ



今度の番組は外での収録です。
最近、仕事がいっぱいでやっとアイドルとして
軌道に乗ってきたんだとしみじみ思います。
ママ…今年はいっぱいお土産話をもって
秋田に帰りますね。


本日の予定

16:00~ 番組収録


~~とーてー~~
「とときんのあちこちればーと」

内容：~~各地の商店街を取材し~~
~~ご当地のグルメや~~
~~名物などをアピールする。~~
愛梨が各地をまわり
童貞狩りをする。

特殊性癖：匂いで童貞を
嗅ぎ分ける



「十時愛梨のどーてーレポートー!」
「みなさんこんにちは、今日は〇〇市にやってきました。
今回は」に住んでいる童貞さんに突撃したいと思います」
私はハンディカメラで駅前を見渡しながら、
童貞さんの匂いを嗅ぎ分ける事にしました。



「いました！ それも2人も」
「すぐに2人組の童貞さんが見つかります。」
「はじめまして、十時愛梨です」
「あ、愛梨ちゃん？」
「ほ、本当だ」
「うふっ、私の事を知ってるようで嬉しいです」
「実はですね…」
私は番組の趣旨をお二人にお話しします。

「はい、交渉は大成功ですので、
これから二つの穴で、童貞ちんぽを
愉しませたいと思いますっ」
私はお二人のちんぽを飲み込むと
その形をイメージしながら
締め付けていきます。

くっくく

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい



「愛梨ちゃんのおまんこ凄くあったかい…」
「お尻もすく締まるよ」
「うふっ、ありがとっ」
「みなさんのおチンポも
とっても素敵ですよ」

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

ぽんぽん

くっくっくっ

私はちんぽの形をおまんこで理解すると
今度は何処が感じるかを探しながら、
下半身全体で扱っていきます。
やっぱり、童貞を奪ってるんですから
いっぱい気持ちよくなって欲しいです。

「ああ…そんなに動いたら、で、出ちゃうよ」
「うふふ、出しちゃってもいいんですよ？」
「お二人が飽きるまでお相手しますからあ」
「え？ じゃあ」それからハメてくれるの？
「もちろんです、何しろ童貞を
貰っちゃいましたからね」
「とどきんがセフレかよ、やったぜ」

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

ズ

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ

あんっ

男の人はすっかりその気になったのが
自分でもちんぽを突き上げはじめます。
童貞さんらしい反応で愛梨も嬉しいです。

「ああん、出てるっ」
すぐに大量の精液が膣と肛門に
噴き上がります。

ダクダク

トるぞ

ムクムク

デクデク

ぬちゅ

ぬちゅ

オナニーばかりしてると
濃さと量が増えるというの
はやっぱり嘘じゃない気がします。
だから、童貞さんの生ハメは
止められないんですよ♥



「まだまだイケますよね？」
そして、おチンポがまだ元気なうちに
次のおねだりをします。

おチンポ

おチンポ

「うん、うん！」

「とときんのために頑張るよ」

うふっ、この初々しい感じが堪りません♪
では、これからはちゃんぽに集中しますので
マイクをスタジオにお返ししますね。
現場から十時愛梨がレポートしましたあ。



翌日。
事務所に来た私は、大変な話を聞いてしまいました。
696プロが経済的にピンチだそうなんです…

名前：十時愛梨

所属：346プロ（696プロ出向）

部門：アイドル

備考：696プロがなくなるとレギュラーが減る事になるのでそれは絶対に避けたいと常に思っている。

「さあ、ごちそうさま、
あいらず☆きんぐちんぐんぐん」
お客さまが来店されるど
ウエイトレス兼料理長の私は
すぐお席に案内して
「奉仕をはじめます。」

お嬢さん

お嬢さん

お嬢さん

お嬢さん

私のアイディアは

お食事の代わりに性的サービスを

提供するおまんこ喫茶だったんです。

あん、もう、ちんぽコンコンですよ

すぐに気持ちよくなりますね♥

「あー、」注文は、ブレイスリとよんで、うらとよんで、うらとよんで、
私はおっぱいの奉仕をばいどめとかなら
メニューを聞くのを思っ出してました。



おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

素敵なおっぱいを前にすると
思わずお仕事をお忘れちゃいますね...
でも、お客様は許してくれましたので
その分、たっぷりサービスします。

私はおマンコでもちんぽを包み込むと同時にサービスをはじめます。すると、お客さまが「そっついえばさ、支払いの条件に俺らが射精(だ)せばってあるけど、あいりちゃんが先にイったら、どうなるの?」と尋ねてきました。

ちんぽ
ちんぽ
ちんぽ

ちんぽ

ちんぽ

実はその事については何も考えていなかったの。「はい、その場合は私も気持ちよくなったのでお代はいりません」と、素直な気持ちをお伝えしました。

「ああん…お客様はまあ…」
すると、お二人は急に激しく
私を責めはじめました。
しかも、すくすく上からさすわすわ…

ああん♡

ぽん

ぽん

ぽん
ぽん

私はあいつらの間に
アクメ寸前になりました。

「イっちゃった」
もちるん、我慢は出来ませんでした。
しかも、私がイったのを見計らったように
お客さまもザーメンを飛ばしてきたんです。



「ああん、すいすい…瀧の田んぼ
あああん…またイ、イクっ」
私はあまりの気持ちよすぎた
連続アクメしてしまっただ。

「くっくっ、2回もイクなんて俺ら相当サービスしてもらわないといけないんじゃないっ」
「はい、今日はお客さまが飽きるまで愛梨の身体でサービスしますからもっとイかせてくれると嬉しいです」
私はすっかりスイッチが入ってしまいお二人にそうお願いします。



ooooooの口を助けるには
もう少し時間がかかりそうです…

——半月後
私たちはプロロイターサーキット
呼び出された。おまじな。
どうやら、このプロロの危機が
回避されたようだ。
どうも嬉しうす。

「プロロイターサーキット
おまじな、おまじな」

「おまじな、おまじな、おまじな」





頭の中に気持ちの悪い光景が
広がっています...

あれ...?
なんだろう...この違和感...
私が私じゃなくなっていくような...

これまで与えられた変化は
全て無効になる。

ただし、それに付随して
行われた性行為そのものの
経験と記憶は残る。



「あ、あなた誰ですか？」
「んな事って……」

「う、嘘……？」
わ、私…何してたの…？
そ、そんなあ……」

これまで与えられた変化は
全て無効になる。

ただし、それに付随して
行われた性行為そのものの
経験と記憶は残る。



これまで与えられた変化は
全て無効になる。

ただし、それに付随して
行われた性行為そのものの
経験と記憶は残る。



「愛梨もらっぽらっ」奉仕しますかな
またらっぽらいかせて欲しいですっ
もう、ちんぽなしたと住んでますかっ」と

もじ
もじ

「ああん…でも、おまんこが疼くので我慢出来ないのぉ…
いつもみたいにハメていただけたら嬉しいですよっ…」

きゅん

これまで与えられた変化は
全て無効になる。

ただし、それに付随して
行われた性行為そのものの
経験と記憶は残る。

「ああん…早く〜奉仕させてください」
私たちはスタジオに連れて行かれると
ファン感謝祭の告知についての説明を受けます。
でも、おチンポを目の前にしちゃうと
あまり内容が頭に入りません…

おチンポ

おチンポ

はあばあ

あんっ

私もですう…

おっぱいがハイズリしたくてうずうずしています。

お願いします…早くちんぽも保持ちんぽもわけてください…

あん…カメラが回って、
ようやくおチンポ奉仕のお許しが出ました。
「アイドルの島村卯月です…」
今度、○○で…ファン感射祭を行いますので
おチンポ汁をいっぱい溜めて
遊びに来てくれると嬉しいです」

「ちんぽをお恵みいただければ、
必ずイかせますから、私たちのザーメン穴に
皆様のお情け…お待ちしていますね」
ああん…恥ずかしい台詞気持ちいいです…
ちんぽを挟むおっぱいにも力が籠もりますう



はあはあ…宣伝が終わったので
早くゲームの浴びでマシメキしたらです…
卯月の顔はハハハハハハハハ
ヨロヨロです～

あん…ちんぽ固くて
おっぱい濡れちゃってるわあ…
らっぱらっぱ奉仕しちゃうかな
自分勝手にセーゲームをプレイしてるわ



「あひああ…い、イクッ」
私は待ち望んだザーメンでイク事が出来ました。
同時に心は「このおチンポの持ち主に縋ると
無条件に依存していくのがわかります。
そう、好きだから気持ちいいんじゃないんです…。
気持ちいいから好きになるんです…。」



「ひあああ…」
私もおっぱいの中で脈打つちんぽの感触で
イってしまいました。
そして、それをもたらしてくれたお相手が
素性もわからない男の人だというショックに
おまん」は興奮状態です…。」

「ああん…またぐっちゃりましたあ…」

「生お仕えますから、
いっぱい卵月をアクメさせて欲しいです」

とろん

とろん

「はあはあ…」

もっともっと肉オナホ愛梨に
お情けくださいませ…
臭いちんぽ汁で「ドロドロ」

「ううして、私たちは時間の許す限り
性欲処理を続けました。
快感を与えてくださった
全てのおチンポに感謝しながら…」

「いつも応援ありがとうございます」ありがとうございます
今日はみんなに卯月のお尻で
気持ちよくなつて欲しいです」
いよいよ感射祭がはじまりました！

ククク

ムムム

「愛梨も皆お尻のお尻で
気持ちよくなるのよ、
遠慮しなさいお尻、
射精(だ)してね」

ククク

ムムム

男の人がいっぱい
思わず目移りしちゃいますね

すぐにファンの方のおチンポが
お尻の中に入ってきてきます。
あん、そんなに焦らないうで...
きちんとお尻締めますからあ

クリン

ズブツ

最初からすごい太いちんぽです
それに、童貞さんですう
愛梨ー興奮が止まりません

「ああん、らっはらっ出てます」
お尻に出された衝撃で
私はあっさりイってしまいました。
でも、呆けている暇はありません
こんないっぱい射精(だ)して
くれてるんですから、
この感触を心に焼き付けたいです

「お尻アクメ、イッちゃってん」
あまりに気持ちよへへ、お尻がちんぽ
食い込んでちゃってます

もし良ければ、そのくらいちんぽまで
ほぐして欲しいです



「さて、今度は卯月と愛梨のチンポレースだぜ、どっちが早くイかせられるか賭けた賭けた」
誰かがそう提案したので、私たちは言われた通り、フアンの方の上に跨ると、おチンポを啜え込みました。

おチンポ

おチンポ

「愛梨さん、負けませんよ」

おチンポ

おチンポ

おチンポ

おチンポ

「受けて立ちますよ、卯月ちゃん
ちんぽに対する愛なら
私の方が上ですからあ」

「ああん、来るうっ」
「発で妊娠しそっうな
濃厚ザーメン来ました」
♥

ゴッホ

ゴッホ

ゴッホ

ゴッホ

「ひぐっ、熱いの出てるっ」
「このオナホに出したみたいなの
身勝手さが最高です」
♥



結果は引き分けですね。
でも、そんな事はどうでもいいんです。
だって、2人ともザーメンをいただいたいて
すごく気持ちよくなれたんですから。

ムムム

ムムム

ムムム

ムムム

でも、まだまだ
気持ちよくなりたらしよ



「はあはあ…素敵なおチンポが
こっぴですわっ」

くっくく

んんん

んんん

んんん

んんん

「白っただけでいっっちゃうらなっ」

そんな私たちの願いを
叶えてくれるかのように
ファンの皆さんは我先にと
ちんぽを恵んでくれました。
もちろん、どんなモノでも、
喜んで奉仕しちゃいます。

「イきたくなったら、お好きな時に
卯月のお風呂に申し出てね」

お風呂
お風呂
お風呂

「さっばらお風呂ポ擦りつけて
愛梨にチンカスマーキングして欲しいです」

「ああん、熱いの丑しめちゃう」

クワッ
クワッ
クワッ

グ
グ
グ

フ
フ
フ

やん♡

ハ
ハ
ハ

「私もいっっちゃうのぉ」

念願のおチンポ汁を浴びて、
私たちは何度もアクメを繰り返しました。



「はあはあ…私、島村卯月は
今日でアイドルから
AVアイドルに進化します」

「私も風俗で働くアイドルになりますので、
是非遊びに来てくださいなっ」

私たちは快感に流されるまま
そう宣言しました。
もちろん、後悔はありません。
だって、もうおチンポなしでは
生きていけないんですから。